



ラウンジ QR コード

あたらしいコロナとともにいきる世界は 外国人への3つの壁をなくせるか…

外国人にとって、3つの壁（ことばの壁、制度の壁、こころの壁）を乗り越えることはむずかしいです。それを取り払うことは、今のようにコロナが広がる前でも、大変なことでした。コロナの中では、さらにむずかしくなっています。人との交流で、コミュニケーションをとることが思うようにいきません。情報を手に入れることも、さらにコロナにかからないために一番よい方法を見つけ出すことも、外国人にとってはとても大変なことでしょう。

「ウイズコロナという新しい日常」＝コロナがあることが普通であるという社会。その中で、私たちは気持ちを新たに、外国人がこの3つの壁を乗り越える手助けになる事業に取り組んでいきます。115号では、「ウイズコロナ」対策を考え、オンラインを利用して行われた3部会の取り組みを伝えます。

■安部香代子さん（ペルー出身）のコロナ体験では……

「コロナ禍における支援策に、どのようなものがあるのかを知るのには難しいです。また支援策が分かっても、書類の理解には苦労をします。3回目の予防接種についても、いつ、どこでできるのか、なかなか伝わってきません。」

“Resulta difícil comprender las medidas de apoyo que se encuentran disponibles para el coronavirus. Incluso conociendo las medidas de asistencia, los formularios son complicados para entenderlos y rellenarlos. Igualmente sobre los documentos para la tercera vacunación, ¿cuándo? ¿dónde? No es fácil de entenderlos.”

『「ことばの壁」を乗り越えて!』



コロナ対策をしてスピーチ大会を開催しました。記事は、2面に。

横浜市青葉国際交流ラウンジは、横浜市の委託を受けて NPO 法人横浜青葉国際交流の会が運営しています。

日本語スピーチ大会から (言葉の壁とは…)

日時：2021年11月21日(日)午後1時30分～3時40分

形式：第5教室とWeb(オンライン)の混成による発表会

参加者：出場者9名(内Web2名)・司会者1名(会場)・視聴者48名(内Web21名)

日本語部では例年、日ごろの学習の発表の場として学習者によるスピーチ大会を行ってききましたが、今年度は、感染リスクをさけて、今まで行ってきただり方とは異なり、初めてオンラインを使用しました。視聴はWeb配信しました。横浜国立大学の吉田昌平教授からは、出場者への励みとなるご講演を、青葉区長小澤明夫様に来賓のご挨拶をいただきました。

主催担当者の感想

コロナ禍のなか、リモート開催を模索し、苦労しましたが、会場と自宅から発表の様子を配信することができました。

ブシェドゥラン・グエンリナ (フランス)

自分の国のことをみんなに話して、みんなのいろいろな面白い話を聞くのが楽しくて、すごくいい練習でした。

ファム・チャン・ニュン (ベトナム)

スピーチ大会は緊張しましたが良い経験でした。自分の限界を超えられて、嬉しかったです。またチャンスがあれば出たいです。

出場者の感想



シャオ・ジュイン (台湾)

スピーチ大会に参加してよかったです。プレゼンの資料を探して、原稿を書くうちに、自分の国も日本の文化も一層理解しました。いい経験になりました。

国際交流研修 全2回 (制度の壁とは…)

外国人が日本に住んでいると何が起る? 何が困る?

REPORT

国際交流研修 1

テーマ：「外国人が日本に住むとどんなことで困りますか?」 制度の壁 1

日時：2021年11月23日(火)午後2時～3時

この研修では、「日本に住む外国人からよくある質問」として、身近すぎて日本人でも気付かない落とし穴のある7つの質問が出されました。法律を正確に解釈しなければならない。いい加減な回答によっては、国際問題を引き起こすようなこともあります。このことを学べたことはラウンジでボランティアをするひとにとっては、とても大切なことです。講師から出された質問に参加者が回答し、皆さんで考える形でした。一つひとつの質問に真剣に取り組めました。さまざまな外国人からの問合せには、その方の実態をよく知り、何を知りたいのか、対応には注意深くなければならない。あらためて気づかせてくれた研修でした。



REPORT

国際交流研修 2

テーマ：「日本に住むということ」「住んでいると、起ること」 制度の壁 2

日時：2021年12月11日(土)午前10時30分～午後12時

「みんな必ず年を取る、だから自分とはどんな風に年を取りたいか、今から考えよう」をテーマとしました。高齢化の進む日本に住むということは、このことを考えなくてはなりません。皆さんの国と制度の違いで困らないためには、「知っておいた方がいいこと」、「やっておいた方がいいこと」を今知ることが大切なことです。日本の超高齢社会や、福祉制度について分かりやすく、また何が落とし穴なのかを説明していただけた研修でした。日本人の参加者にとってもおもしろいことが多く、あらためて考えさせられました。日本に住むことでの制度の壁について、外国人への支援はどうあるべきか考えることを問われた研修でした。



● ようこそ！ 常夏の国 インドネシアに（こころの壁とは…）

日時：2021年10月30日（土）午後12時30分～2時

形式：Zoomによるオンライン形式 第72回アフタヌーンティー「ようこそ常夏の国 インドネシアへ」

ゲストスピーカ：サンディ・セシリア さん 参加者：16名 スタッフ12名



2019年来日。東京工業大学大学院博士課程に在籍し環境学を専攻。趣味は水泳、音楽、読書。特に話や意見を聞くのが好きである。温かいご飯、きんぴらごぼろ、みそ汁、焼き鯖など、日本の朝食が大好き。ラウンジの日本語教室で学んでいる。

アフタヌーンティーにとって初めてのWebによるイベント開催でした。初めてのことでスタッフも準備が大変でしたが、開催出来良かったです。サンディさんは日本語で、インドネシアについて写真や地図などを使い、地理・国土の歴史、文化、衣食住、日本との関係など多岐にわたり紹介されました。示された資料もわかりやすく、説明も判りやすく、流暢な日本語での紹介に聞き入っていました。インドネシアという国の多種多様な文化・民族があることなど今まで知らなかったことを知る機会となりました。日本とインドネシアの言葉には共通点があることは興味深く、同じアジアであること意識しました。参加者にはインドネシアでビジネスをしていたひと、旅行で訪れたというひとなどもおられました。また、今日の話がきっかけで訪れてみたいと感じたひともおられたでしょう。次回のアフタヌーンティーは対面でできるよう企画を考えます。



- サンディさんへの質問**
- Q1** 日本に住んでよかったこと・嫌だったこと
公共交通機関が便利。リセイルのお店がネットでも色々あることがよかった。物価が高い。市役所や政府の公式ホームページで、日本語情報と英語情報の内容が時々違うことが嫌だった。
- Q2** 日本人に望むこと（してほしかったこと）
日本に入国したい留学生が入国できるようにしてほしい。
- Q3** インドネシア語と日本語の大きな違い・日本語で困ったこと
動詞の位置が違い、日本語を習い始めた時すごく悩んだ。
- Q4** インドネシアを訪問する人に、サンディさんが真っ先に推薦する場所は？
ビーチや文化が好きなら、バリ島、静かな場所なら、パプアのラジャアンパーやラブアナバジヨはおすすめです。大きい湖や山に行きたいなら、北スマトラのトバ湖にぜひ行ってみてください。
- Q5** インドネシアに行つて注意することは？
インドネシアの食品サービス基準は日本と全く違いますので、お腹を壊す可能性があります。注意してほしいです。



● スタッフ研修から／入管法を学ぶ（制度の壁とは…）

REPORT

日時：2021年10月22日（金）

形式：ZOOMによるオンライン研修 参加者：17名 講師：笠間由美子 神奈川県行政書士会国際部

コロナウィルス感染拡大は多くの外国人に影響を与え、さらに在留資格についても問題とされることが多くなってきました。ラウンジ窓口スタッフを主な対象とし、オンラインによる研修を、入国管理法、在留資格、在留資格の取得、更新、変更、不法滞在の問題などについて、窓口業務や対応を充実させるために必要な内容を笠間先生にお願いしました。



□ パルゆめ&ハートカフェに参加

日時：2021年10月24日（日） 主催者：パルシステム神奈川
会場：みどりアートパーク（長津田） 参加：高原副理事長、シャオ窓口スタッフ

青葉国際交流ラウンジの多文化共生や外国人支援の活動を広く皆様に知ってもらうため、台湾のシャオさんと参加しました。我々の活動は日本国内が中心でした。しかしフェアトレードのため海外で外国人を支援する団体、今までお付き合いのなかった国際交流とは関係のないいろいろな団体の活動を知り、とても良い刺激になりました。



手に入れられる場所：地区センター、図書館、ケアプラザ、コミュニティハウス
青葉区内の東急田園都市線の各駅、地下鉄あざみ野駅に置いています。



本はラウンジで借りることができます。(一人2冊2週間)どうぞラウンジに来てご覧ください。
 まだしばらくはコロナ禍が続きます。外出を控える分、本を読む時間を増やしましょう。そして読書を楽しみ、
 コロナ禍を乗り越えていきましょう。この欄で紹介する本が、お役に立てればうれしいです。

●外国人の医療・福祉・社会保障
 相談ハンドブック 明石書店

災害を受けた人のために、生活
 に関する社会保障制度について
 わかりやすく書かれている。
 外国人の生活支援に参考になる1
 冊です。

●オールカラー
 英語百科大図典 小学館

日常生活で見聞きする身近な物の
 名称が、イラストと共に日本語と
 英語で示されています。誰でも活用
 できる百科大図典です。

●上下ルビで学ぶ介護の漢字ことば
 スリーエーネットワーク

漢字で書かれた介護のことばの上
 には読み方を、下には意味をルビで
 振り、外国人が、読み方と意味が
 同時に覚えらるよう書かれていま
 す。

●日本語文法ハンドブック
 ひつじ書房

日本語を教える人、勉強している
 人が、知っておくべき使い方を、
 使用例、誤用例を示しながら紹介し
 ています。総ルビで学習教材として
 も有効です。

日本語をならいたい人！

●おとなのための教室（高校生以上）
 日本語教室 会費：300円/月（どのクラスも）

水曜日 午前9時30分～11時
 木曜日 午後6時30分～8時
 土曜日 午前9時30分～11時

●学習補習教室
 （外国につながりをもつ子どものためのクラス）

（無料）水曜日
 小学校入学1年前～小学6年生
 午後3時45分～5時15分
 （中学生）午後6時～7時15分

コロナの関係で時間が変更になるかもしれません。窓口
 にお問い合わせください。



●学習者のニーズや要望に沿った日本語学習だけでなく
 日本の文化や習慣など生活情報も伝える。
 ●外国につながる子どもたちが学習するための日本語学習だ
 けでなく、個々の学習補習、学校の宿題のサポートをする。



へんしゅうこうき
 編集後記

これらの取り組みを通じて、3つの壁（ことばの壁、制度の
 壁、こころの壁）を乗り越えることへの支援がますます重要
 になっていくことを実感しました。引き続き、当ラウンジ支援
 活動の主要な位置づけにして取り組んでいきたいと思ひます。

●ラウンジではやさしい日本語を使って、外国人のかたへ
 案内しています。

また、英語でお答えすることもできます。中国語スタッフは水
 曜日午前9時～午後1時。スペイン語スタッフのいる日は、
 電話でたずねてください。